

○ 抗菌剤に頼らない畜水産物の生産体制の推進

令和8年度予算概算決定額 607百万円（前年度 619百万円）の内数
 消費・安全対策交付金 1,896百万円（前年度 1,896百万円）の内数
 令和8年度予算概算決定額（デジタル庁計上） 13,551百万円（前年度 13,587百万円）の内数
 【令和7年度補正予算額（デジタル庁計上） 5,475百万円の内数】

<対策のポイント>

抗菌剤は、家畜の治療に重要であるものの、薬剤耐性菌の発生により、動物だけでなく、人への悪影響も懸念されることから、国内外で使用に関する厳しい対応が求められています。このため、**抗菌剤に頼らない畜水産物の生産体制の構築が急務**となっていることから、**ワクチンや迅速な診断手法等の開発を支援**するとともに、**抗菌剤の慎重な使用に関する研修、薬剤耐性菌発生の監視・動向調査**を実施します。

<事業目標>

畜産分野の抗菌剤の販売量の削減（2020年より15% [令和9年度まで]）※薬剤耐性対策アクションプラン（2023-2027）（関係閣僚会議決定）

<事業の内容>

- 1. 抗菌剤の使用機会の削減に資する体制の整備**
 - ① 感染症予防に資する**ワクチン等の開発・実用化**を支援します。
 - ② **ワクチンの安定供給体制**の強化に向けた関係者の**連携体制**を整備します。
 - ③ **生産者や獣医師**に対し、治療に抗菌剤を多用する**疾病の予防技術の伝達**等を行います。
- 2. 抗菌剤の適正使用・慎重使用に資する体制の整備**
 - ① 迅速かつ的確に抗菌剤を選択できるような、**診断・制御法、試薬等の開発・実用化**支援をします。
 - ② **農場ごとの抗菌剤の使用実態**を正確に把握し、**獣医師の投薬指導**、畜産物の輸出時に必要な投薬証明に**活用できるシステム**について**運用保守**を実施します。
 - ③ **抗菌性飼料添加物の使用実態調査**及び普及啓発を行います。
 - ④ 獣医師、生産者等への**抗菌剤の慎重な使用に関する研修**等を実施するとともに、都道府県が行う**魚類防疫員等への研修**を支援します。

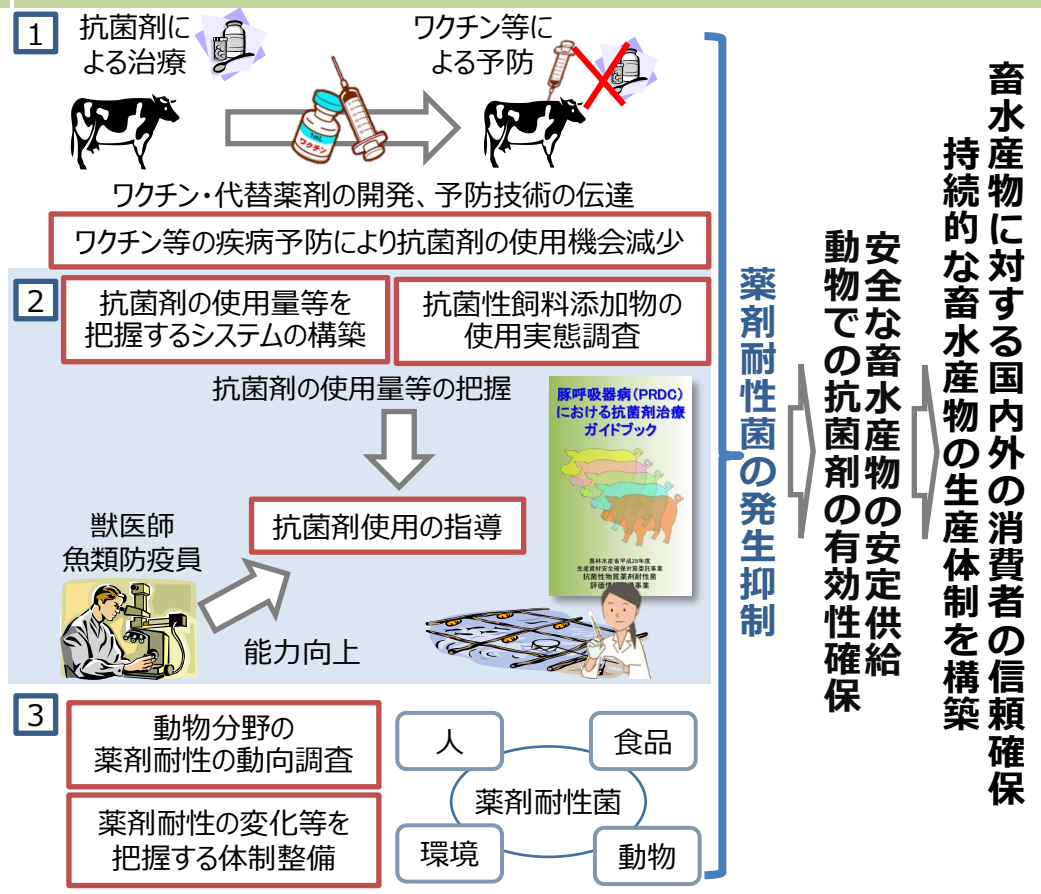
3. 動向調査の実施と監視体制の整備

家畜、養殖水産動物等における**薬剤耐性菌発生の動向調査**や、人、動物、食品等由来の**薬剤耐性菌**について、**遺伝子レベルでの比較解析**等を行い、**薬剤耐性の変化や拡大の予兆**を把握し、**必要な措置**を検討します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】 消費・安全局畜水産安全管理課 (03-6744-2103)